

6月19日

テーマ：知恵の心

聖書箇所：詩篇90篇10～17節

◆今日のみことば

それゆえ、私たちに自分の日を正しく教えることを教えてください。

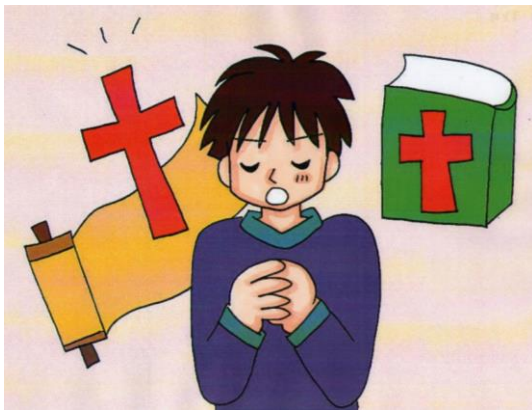
そして私たちに知恵の心を得させてください。

詩篇90篇12節

◆メッセージ

今朝、目がさめたとき、どんな気持ちでしたでしょうか。「よし。新しい一日が始まったぞ」でしょうか。それとも「やれやれ、また一日が始まった。面倒くさいな」でしょうか。それでは今夜、どんな気持ちで床につくでしょうか。「きょうもいい一日だった」でしょうか。それとも「いいことなんか何もなかった。イヤな一日だった」でしょうか。同じ一日を過ごしても、ずいぶん違った一日です。嬉しい一日か、それとも面倒くさい一日か。ずいぶん違います。

神さまは、楽しく喜んで過ごすようにと、きょうという一日を与えてくださいました。きょうという一日は、神さまからいただいた素晴らしいプレゼントです。それは、自分に与えられた大切な一日です。だから自由に何でもすることができます。嬉しいことです。けれども好き勝手なことをして、あとで「もっとこうしておけばよかった」と後悔するのでは残念です。嬉しい一日を過ごすためには、神さまといっしょに歩もうとすることが大事です。神さまがいっしょなら、小さくても素晴らしい一日になるでしょう。



忘れてはならないのは、私たちはいつか死ぬということです。死ぬまでにどれくらいたくさん一日が与えられるのでしょうか。私たちにわかりません。自分の一生は長いのか、それとも短いのか。私たちにわかりません。だから、一日一日を、大切に生きることです。そのためには神さまといっしょに歩むこと。それは神さまからの語りかけを聞くことです。聖書のみことばを心に覚えることです。そうすると、心は神さまの知恵でいっぱいになります。

きょう一日の辛いことや、悔しいことに負けることはありません。いっしょにいる神さまが、心に知恵を与えてくださいますから、どうしたらいいのかわかるからです。みことばを心にとめて神さまの語りかけを聞く人は、「よし。新しい一日が始まった」と元気に一日を始められます。そして「きょうもいい一日だった」と感謝して、一日を閉じることができます。みことばを心にとめる人は、そういう嬉しい毎日を過ごすことができます。

◆お祈り

「今日という大切な一日を感謝します。今日も、神さまの知恵を与えてください。」

(下北沢聖書教会牧師 山口譲)